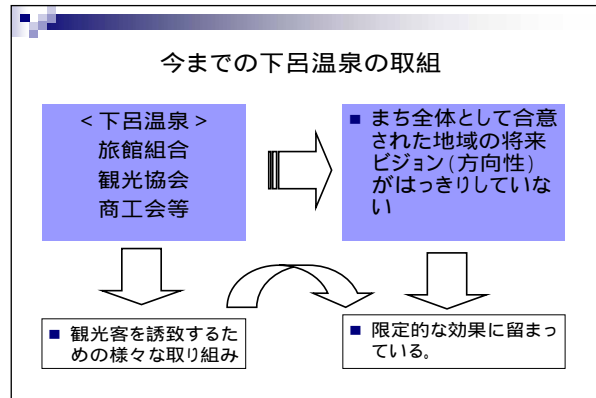


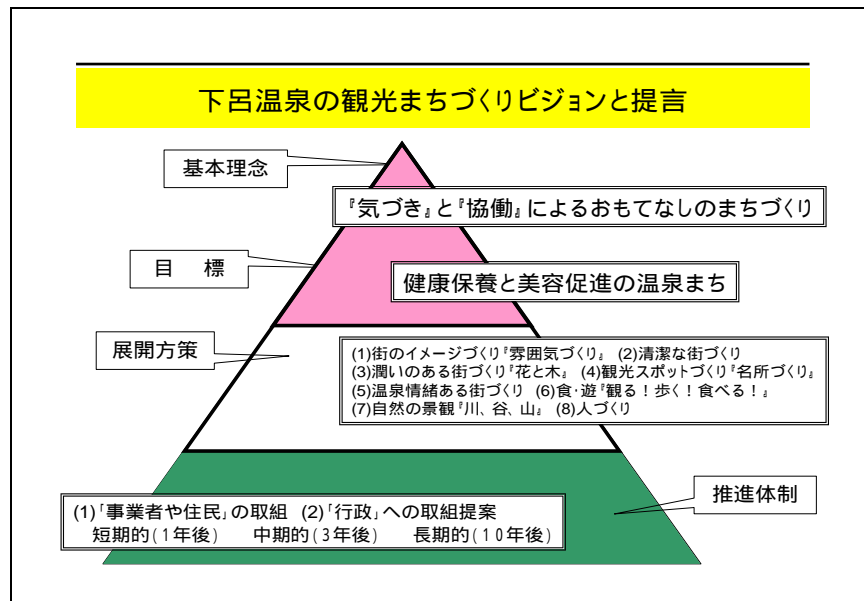
「下呂温泉の交流産業振興に関する調査研究」結果について

調査研究の趣旨

- ・ 日本三大名湯の1つ（草津温泉、有馬温泉、下呂温泉）
- ・ 宿泊者数の減少。
約165万人（H2年度/ピーク時）
約102万人（H16年度）
- ・ 下呂温泉の自律的な発展を目指して、地元が主体となり、地元が合意できる観光まちづくりのビジョン策定を支援する調査研究を行った。



調査研究結果のポイント



- ・ 観光まちづくりに向けた今後の対応
下呂温泉では、事業者や住民、行政ができることを実行するための活動を進め、観光客の評価を受けて見直しながら取組を継続する。このことが、観光まちづくりビジョンを実現することにつながる。

担当者コメント

- ・ この調査研究は、下呂温泉の事業者や住民、行政が、観光まちづくりビジョンを実現するための第一歩であり、経済的な効果を下呂温泉にもたらしするための第一歩である。
- ・ 今後、下呂温泉がその統一したビジョンの実現に向けて地域が一体となった取り組みを行い、自律的な地域の発展につながることを期待する。

【問い合わせ先】

(財)岐阜県産業経済振興センター 調査研究部 長井哲也

TEL : 058-277-1085 FAX : 058-277-1095 E-mail : nagai@gpc.pref.gifu.jp